

わが家の「緊急・救急情報」防災メモ

非常時・緊急時に活用してもらいたいわが家の情報です。災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関などに情報を提供します。連絡してほしい方などの情報を記入しましょう。

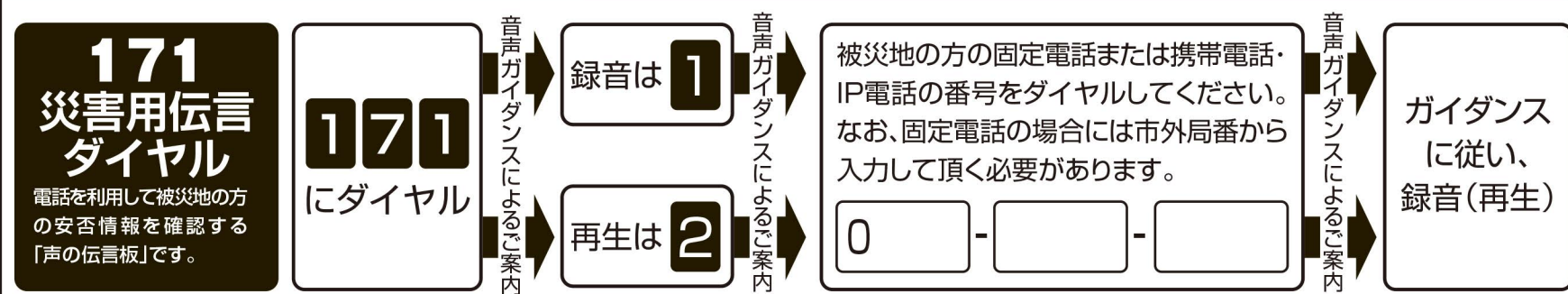
わが家の避難先	土砂災害時・洪水時	地震時
家族が離れているときの集合場所	土砂災害時・洪水時	地震時

氏名	連絡先	会社・学校	血液型	かかりつけ医・常備薬

【メモ】※書ききれなかった内容や、知ってほしい情報（介護情報・救急隊員への伝言など）をお書きください。

緊急ダイヤル 消防へ火事・救急・救助の連絡 **119** 警察へ事件・事故の連絡 **110**

あなたの無事を伝えましょう 体験利用日：「毎月1日および15日」、「正月三が日」、「防災週間」、「防災とボランティア週間」



災害用伝言板（パソコン・スマートフォン用）



発行 那須町役場

総務課 TEL 0287-72-6901 FAX 0287-72-1133

「この地図は、那須町長の承認を得て、同町発行の1/2,500現況平面図及び1/10,000地形図を使用して調製したものである。」（令和3年10月12日 那建第261号）

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R2JHs293-1121号」

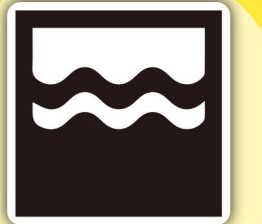
※使用ピクトグラム… JIS Z8210 [洪水/内水氾濫] [土石流] [崖崩れ・地滑り] [大規模な火事] [鉄道/鉄道駅] [警察]

令和5年3月発行

保存版

令和5年3月

さまざまな災害に
備えましょう！



洪水／内水氾濫



土石流



崖崩れ・地滑り



大規模な火事



地震

那須町 防災 マップ

～大切な命を守るために～



那須町の
マスコットキャラクター
「ぎゅーびー」
那須のいたずら九尾狐©2013ぎゅーびー-21387

はじめに

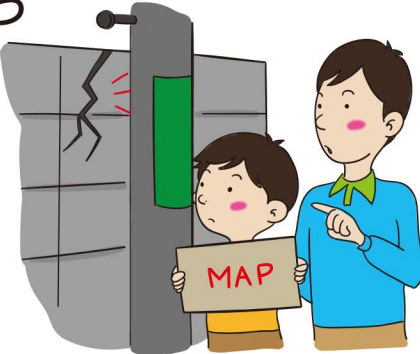
本書は、いつ起こるかもしれないさまざまな災害に対し、事前に備えることを目的として作成しました。予測不可能な災害の被害を最小限にとどめるため、日ごろから内容に目を通し理解を深めていきましょう。また、本書の特徴として、災害時に持ち運びができるように冊子型としています。ヒモなどでつるし身近に置き、緊急時に持ち出してご活用ください。

もくじ

● はじめに	 1	● 火災・雪害・竜巻・雷対策	 10
● 5段階の警戒レベル	 2	● 地震対策	 11
● 避難行動判定フロー	 3	● 揺れやすさマップ	 12
● マイ・タイムライン	 4	● 火山対策(那須岳)	 13・14
● 災害時の情報伝達	 5	● 避難所等一覧	 15
● 非常時持出品・備蓄品	 6	● 全体索引図・ハザードマップについて	 16
● 避難の方法	 7	● 詳細図1～18	 17～51
● 風水害対策	 8	● ため池ハザードマップ	 52～54
● 土砂災害対策	 9	● わが家の「緊急・救急情報」防災メモ	 裏表紙

防災マップの活用方法について

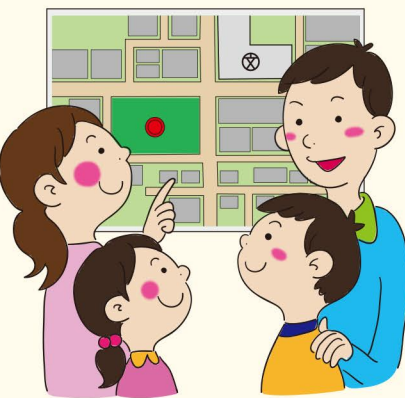
- ① 住んでいる場所と予想される危険箇所を地図上で確認しましょう
- ② 避難所・避難場所を確認しましょう
- ③ 避難経路を考えてみましょう
- ④ 家族や周辺住民と情報を共有しましょう



家族みんなで防災会議

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。いざというときにあわてず行動できるよう、本書を活用いただき、家族で普段から話し合っておきましょう。

- ☐ 家の中で一番安全な場所
- ☐ 家族一人ひとりの役割分担（安否確認、非常時持出品・備蓄品のチェック）
- ☐ 避難所・避難場所、避難経路（自宅と避難所・避難場所を確認）
- ☐ 自宅付近の災害リスク、危険箇所の確認
- ☐ 災害が起こったときの身の守り方
- ☐ 家族が離ればなれでいたときの連絡手段、集合場所
- ☐ 要配慮者（高齢者、障がい者、乳幼児、妊産婦など）のサポートと避難方法



5 段階の警戒レベル

避難情報等(警戒レベル)			河川水位や雨の情報(警戒レベル相当情報)	
警戒レベル 状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)	
			洪水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5 災害発生 または 切迫	命の危険 直ちに 安全確保！	さんきゅう 緊急 あんぜんかくほ 安全確保 ※1	5 相当 氾濫 発生情報	大雨 特別警報 (土砂災害)
〰〰〰警戒レベル4までに必ず避難！〰〰〰				
4 災害の おそれ 高い	危険な場所から 全員避難	ひなんしじ 避難指示	4 相当 氾濫 危険情報	土砂災害 警戒情報
3 災害の おそれ あり	危険な場所から 高齢者等は避難 ●避難に時間のかかる要配 慮者(高齢者・障がい者・ 乳幼児等)とその支援者 は避難 ●高齢者等以外の人も危険 を感じたら自主的に避難	こうれいしゃとう 高齢者等 ひなん 避難 ※2	3 相当 氾濫 警戒情報 洪水警報	大雨警報
2 気象状況 悪化	自らの避難 行動を確認	大雨注意報 洪水注意報	2 相当 氾濫 注意情報	—
1 今後 気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを 高めましょう	早期 注意情報	1 相当 —	—

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

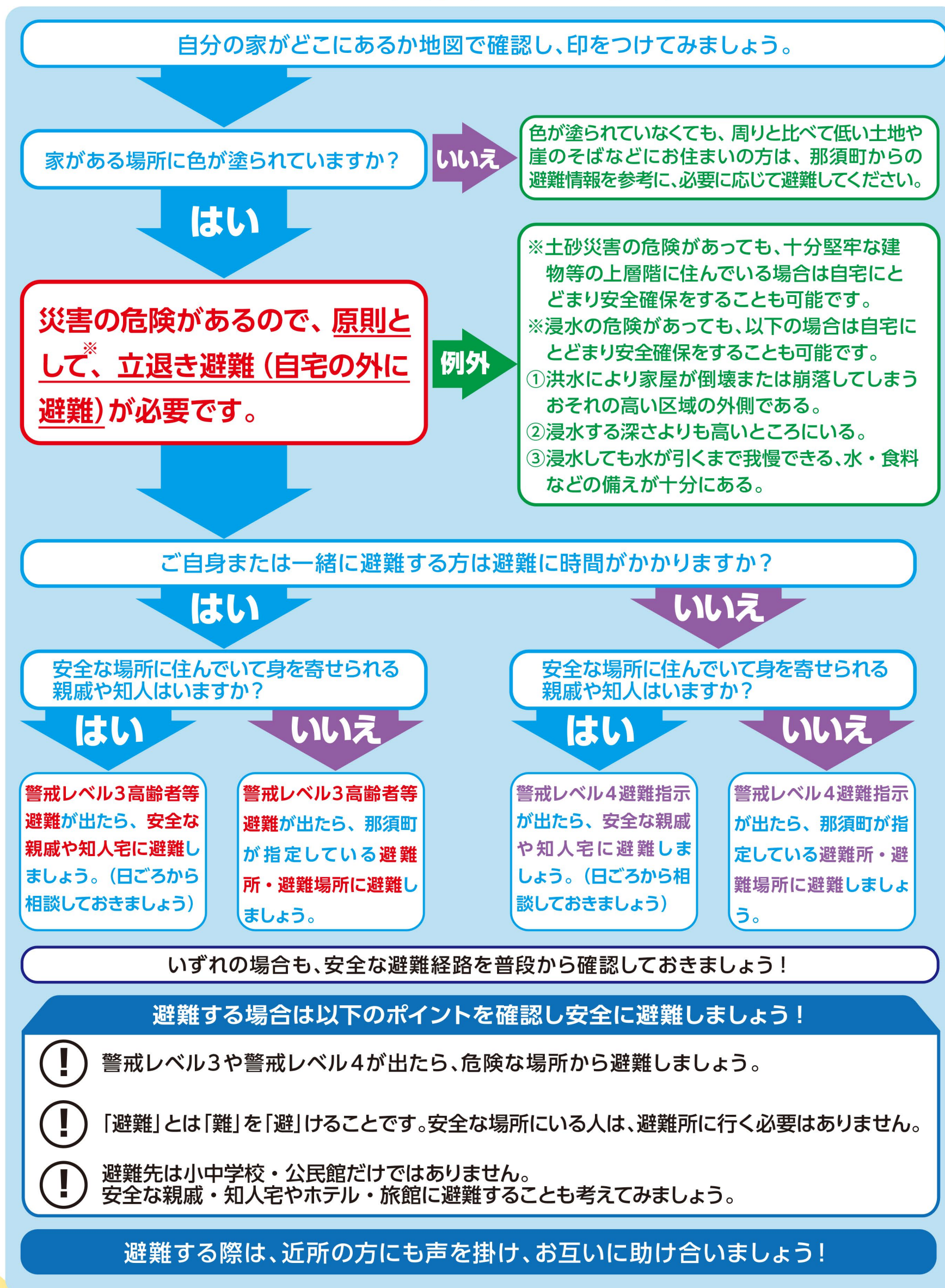
警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。
警戒レベル5 緊急安全確保の発令を待ってはいけません！

警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、**警戒レベル3高齢者等避難**で危険な場所から避難しましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？必ず取り組みましょう！



マイ・タイムライン

災害時のあなたの行動を書きましょう。
家族で決めた避難先・集合場所、連絡方法は裏表紙のメモに書き込みましょう。

災害発生までの時間	気象情報 避難指示等	〈例〉主な備えと行動	わが家の行動計画 (左の例を参考に書いてみましょう)
5日前	台風に関する気象情報 台風が発生 台風が近づいて、雨や風がだんだん強くなる	・台風の今後を調べ始める ・本書等を見て避難場所、避難手段を確認 ・家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認 ・テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ・避難するときに持っていくものを準備する ・家族と連絡を取りあう	
～半日前	大雨注意報・洪水注意報 氾濫注意水位到達 雨が集まって、川の水がだんだん増える	・住んでいるところと上流の雨の量を調べ始める ・本書等で避難場所、避難手段を再確認 ・川の水位を調べ始める ・避難所が開設しているか、インターネットで確認 ・避難しやすい服装に着替える ・携帯電話、スマートフォンを充電する	
5時間前	避難判断水位到達 高齢者等避難 激しい雨で、川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が流れる	・携帯メール等で高齢者等避難を受信 ◎高齢者等は避難開始	
3時間前	氾濫危険水位到達 避難指示 川の水があふれそうになり、いつ氾濫してもおかしくない状態	・携帯メール等で避難指示を受信 ◎安全なところへ移動を始める	
0時間	氾濫が発生 緊急安全確保 川の水が氾濫	全員避難完了!! ・命の危険 直ちに安全確保	

※ 気象庁が発表する大雨注意報等の発表時間は、イメージで記載しています。
避難指示等のタイミングは状況によって異なります。那須町からの発信情報に注意してください。

非常時持出品・備蓄品

非常時持出品(例)

```
graph TD; A[気象庁] <--> B[栃木県]; B -- "水位情報  
気象情報  
土砂情報" --> C[那須町(災害対策本部)]; C -- "避難情報  
高齢者等避難・避難指示・緊急安全確保" --> D[テレビ・ラジオ]; C -- "避難情報  
高齢者等避難・避難指示・緊急安全確保" --> E[ホームページ・メール]; C -- "避難情報  
高齢者等避難・避難指示・緊急安全確保" --> F[広報車・防災行政デジタル無線]; C -- "避難情報  
高齢者等避難・避難指示・緊急安全確保" --> G[消防団]; C -- "避難情報  
高齢者等避難・避難指示・緊急安全確保" --> H[自治会長・自主防災組織代表]; D --> I[住民の皆さん]; E --> I; F --> I; G --> I; H --> I;
```

気象庁

栃木県

那須町(災害対策本部)

避難情報
高齢者等避難・避難指示・緊急安全確保

テレビ・ラジオ

ホームページ・メール

広報車・防災行政デジタル無線

消防団

自治会長・自主防災組織代表

住民の皆さん

▼Yahoo!
防災速報
雨予報をはじめ、さまざまな災害情報を
プッシュ通知でお知らせします

 App Store

 Google Play

- ☐ 生活用水（風呂などに貯水）
- ☐ 毛布・寝袋・洗面用具
- ☐ 調理器具（なべ・やかんなど）
- ☐ バケツ・各種アウトドア用品
- ☐ 歯みがきセット・ひげそり

ヘルメット（防災ずきん）をかぶる

非常時持出品はリュックサックに入れて背負う

軍手や手袋をはめる

長そで・長ズボン
着
用
然えにくい木綿製
品がよい

靴は底の厚い、はき慣れたものをはく

買う

備える

食べる

食べ慣れたものを備蓄しよう！

避難の方法

避難は公民館や学校といった指定避難所への移動ではありません。住んでいる地域やそのときの状況、人によって方法は異なります。普段からどう行動するか決めておきましょう。

■立退き避難（自宅以外の場所への避難）

- ・町が開設した避難所
- ・安全な親戚・知人宅（縁故避難）
- ・安全なホテル・旅館への宿泊（通常の宿泊料が必要です。この防災マップで安全かどうか確認し、予約しましょう）



■緊急安全確保

「立退き避難」を行う必要がある居住者等が、適切なタイミングで避難をしなかった等により避難が遅れたために、災害が発生・切迫し、立退き避難を安全にできない状況に至ってしまった場合に、命の危険から身の安全を可能な限り確保するため、その時点でいる場所よりも安全である場所へ直ちに移動等することが「緊急安全確保」です。



- ① 自宅への浸水が始まっている場合、自宅の少しでも高い場所に移動
- ② 崖から近い建物の場合、崖から離れた部屋に移動
- ③ ①、②の行動でも危険を感じた場合は近隣のより高く頑丈な建物に移動

避難所について

避難所開設情報を確認しましょう

災害時は、すべての避難所が開設されるわけではありません。台風などの接近に備え、避難指示などを発令する前から自主的に避難する人のために開設する「自主避難所」や、発令後に対象地域の避難先として開設する「指定避難所」の開設情報を町のホームページや安全安心メールでお知らせします。※避難する場合は、どこの避難所が開設されているか確認しましょう。

避難所では生活ルールを守りましょう

避難所では限られた空間の中でたくさんの人が生活しますので、協力して良好な環境を保ちましょう。起床や就寝の時間、トイレの使い方、喫煙場所、ペット同伴の可否など避難所のルールを守りましょう。ほかの人の居住スペースに立ち入ったり、のぞいたり、大声で話したりするのはマナー違反です。限られたスペースをゆずりあって使いましょう。配慮が必要な方のために、場所の移動をお願いすることもあります。

役割分担して運営に参加しましょう

避難者もできる範囲で、受付や清掃、炊き出し、物資の配布など役割分担しましょう。皆さんで助け合いながら避難所運営に参加しましょう。



～飼い主が備えておくべきこと～

ペットの同行避難は各避難所に定められたルールに従いましょう。避難者がいるスペースから離れ、決められた場所につないだり、持参したケージ（おり）等に入れたりするなど、飼い主が責任を持って世話しましょう。

ウイルス等の感染症が収束しない中でも、**災害時には**

危険な場所にいる人は避難することが原則

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な行動をとりましょう。

避難先では感染症予防に努めましょう

・避難所に入る前に

感染の拡大を未然に防ぐことが非常に重要です。避難所に入る前に、発熱の有無など体調チェックを行いましょう。

・換気の実施

可能な限り、定期的に換気を行いましょう。換気は季節を問わないので、寒暖差への防寒対策も必要です。

・手洗い、うがいをこまめに

食事前や、トイレなど共有部分に触れた後は、石けんと水で手洗いしましょう。水を十分に確保できない場合は、アルコール消毒液などで代用しましょう。

・「3密」（密閉・密集・密接）の回避

避難者同士2m程度の距離を保ちましょう。向かい合わせではなく背中合わせに座ったり、段ボールなどの間仕切りを利用すると、飛沫感染の予防になります。また食事時間をずらすなどして、密集・密接を避けましょう。

・咳エチケットの徹底

飛沫感染の予防のため、咳などが出ていなくてもマスクを着用しましょう。

・日々の健康状態をチェック

定期的に体温を測定し、体調の変化を感じた場合にはすぐに避難所のスタッフに相談しましょう。

・分散避難

体調管理に配慮が必要な人は、安全に避難をできる縁故避難や宿泊避難をあらかじめ検討しましょう。

・車中避難

密を避けるため自家用車等に避難する際は、こまめな水分補給や定期的な運動でエコノミー症候群に注意しましょう。

※感染症予防に限らず健康上の不安があったら避難所にいる保健師に相談してください。

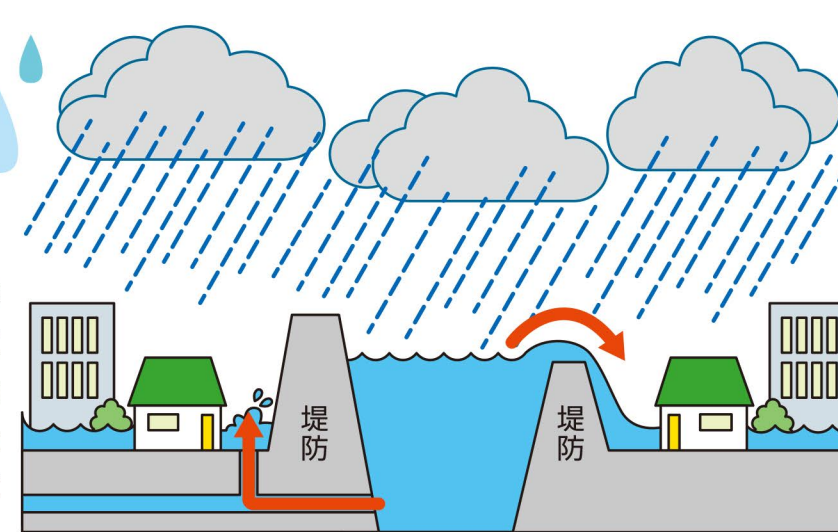
風水害対策

「風水害」とは、強風、大雨、洪水などによる自然災害のことです。これらは、毎年のように全国各地に大きな被害をもたらしています。このような自然災害から身を守るためには、さまざまな自然現象について正しい知識を持ち、自分自身への身近な危険として認識し、災害時にとるべき行動を平時から身につけておくことが重要です。

氾濫の種類

内水氾濫とは

市街地などで大雨が降ると、側溝や排水路だけでは雨水を流しきれなくなることがあり、あふれ出した雨水により、建物や土地・道路等が水に浸かってしまうことです。雨が降り始めてから短時間で浸水することもあるので注意が必要です。



外水氾濫とは

河川の堤防から水があふれたり、堤防が決壊して、家屋や田畑等が浸水することです。外水氾濫が発生すると、大量の水が流れ込み、広い範囲で浸水し、水が引くまでに時間がかかります。

雨の強さと降り方

やや強い雨 ザーザーと降る	強い雨 どしゃ降り	激しい雨 バケツをひっくり返した ように降る	非常に激しい雨 滝のようにゴーゴーと 降り続く	猛烈な雨 息苦しくなるような圧迫感 があり恐怖を感じる
地面からの跳ね返りで 足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる。 ワイパーを速くしても見 づらい	道路が川のようになる。 高速走行時、車輪と路面 の間に水膜が生じブ レーキが 効かなくな る	寝ている人の半数くらい が雨に気がつく。水しぶ きであたり一面が白っぽ くなり、視界が 悪くなる	傘は全く役に立たなくな る。車の運転は危険
10mm以上～20mm未満	20mm以上～30mm未満	30mm以上～50mm未満	50mm以上～80mm未満	80mm以上～

風の強さと吹き方

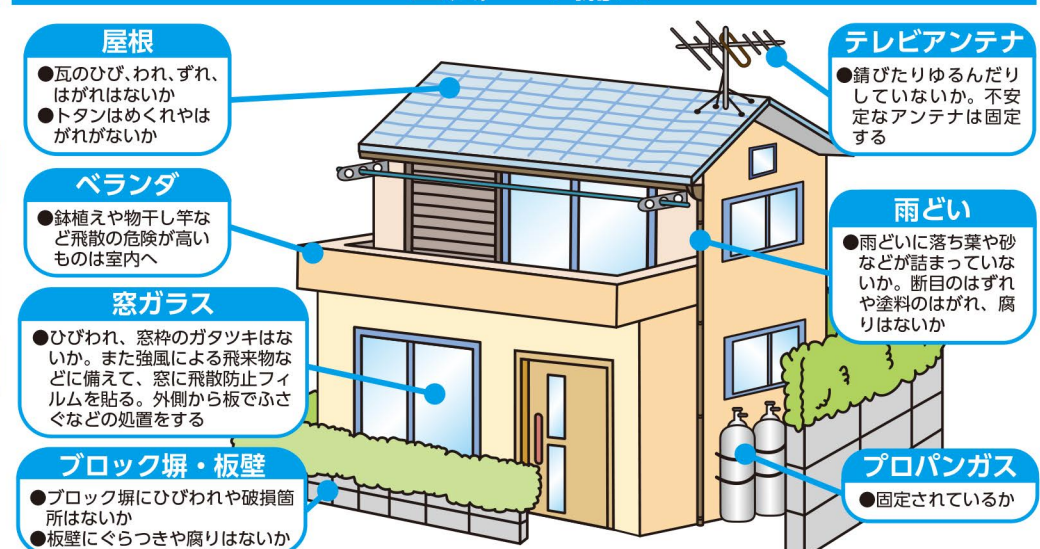
やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風
風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。樹木全体や電 線が揺れ 始める	風に向かって歩けない。転倒 する人も出る。雨戸やシャ ッターが揺れる	何かにつかまっていけないと 立っていられない。飛来物に よって負傷 するおそれ がある	屋外での行動はきわめて危 険。電柱や街灯で倒れるもの がある。ブロック塀で倒壊す るものがある
平均風速 10m/s以上～15m/s未満	平均風速 15m/s以上～20m/s未満	平均風速 20m/s以上～30m/s未満	平均風速 30m/s以上

台風について

熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼びますが、このうち北西太平洋または南シナ海に存在し、なおかつ低気圧域内の最大風速（10分間平均）がおおよそ17m/s（34ノット、風力8）以上のものを「台風」と呼びます。

大きさの階級	大きさ	風速15m/s以上の半径
	大型（大きい）	500km以上800km未満
	超大型（非常に大きい）	800km以上
強さの階級	強さ	最大風速
	強い	33m/s以上44m/s未満
	非常に強い	44m/s以上54m/s未満
	猛烈な	54m/s以上

台風への備え



地震災害とは？

地震による災害は、建物倒壊、火災の発生、土砂崩れ、液状化現象などがあります。建物倒壊や土砂崩れなどによって道路が通れなくなったり、線路の安全確認により電車が動かなくなる交通障害もあります。また停電やガスの停止、水道の断水が起こる場合もあり、電話やインターネットもつながりにくくなります。

地震のときの行動は？

地震の揺れを感じた場合や緊急地震速報を見聞きした場合は、あわてずにまずは身の安全を確保してください。そして落ち着いてテレビやラジオ、携帯電話やスマートフォンなどで正確な情報の把握に努めましょう。

地震発生

1~2分

最初の大きな揺れは約1分間

- あわてずに身の安全を確保する

揺れがおさまったら

- 火元を確認する 火が出たら、落ち着いて初期消火する
- 家族の安全を確認する 倒れた家具の下敷きになっていないか確認する
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するときは、屋根瓦の落下・ブロック塀の倒壊・自動販売機などの転倒に注意する

みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

隣近所に声を掛けよう

- 要配慮者の安全を確保する
- 隣近所で助け合う
- 行方不明者はいないか確認する
- ケガ人はいないか確認する

出火防止 初期消火

- 消火器を使う
- 余震に注意する
- 漏電・ガス漏れに注意する 電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める

テレビ・スマートフォン・ラジオなどで正しい情報を確認する

- 防災機関、自主防災組織の情報を確認する
- デマにまどわされないようにする
- 避難時に車は極力使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する

協力して消火活動、救出・救護活動をする

- 水、食料は蓄えているものでまかなう
- 災害・被害情報を収集する
- 壊れた家に入らない
- 近くの人を救出・救護する

屋内にいる場合

家の中

- 頭を保護しながら丈夫な机の下などに隠れる
- 火の確認はすみやかにする（ガスの元栓の処置も忘れずに）
- 高齢者や障がい者、乳幼児など要配慮者の安全を確保する
- 裸足で歩き回らないようにする（ガラスの破片などでケガをしないため）

大規模店舗や集客施設にいるとき

- つり下がっている照明などの下から避難する
- あわてて出口や階段に殺到しない

エレベーターに乗っているとき

- 最寄りの階で停止させて、すぐに降りる

屋外にいる場合

路上

- ブロック塀や自動販売機には近づかず、ビルの壁、看板や割れた窓ガラスなどの落下に注意する
- 頭をカバンなどで保護する

車を運転中

- あわてて急ハンドルや急ブレーキをかけず徐々に速度を落とす
- 避難するときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない
- 車検証などの貴重品を忘れずに持ち出す

山や崖付近にいるとき

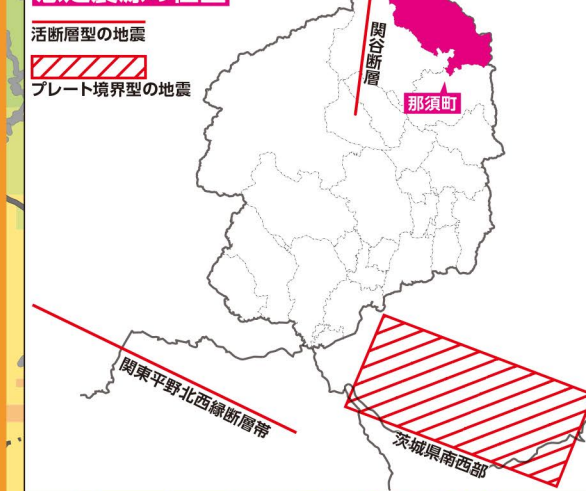
- 落石や崖崩れに注意し、できるだけその場から離れる

震度分布図

那須町直下に想定した地震（M6.9）

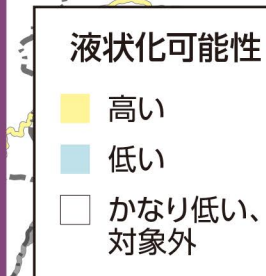


想定震源の位置



液状化可能性分布図

那須町直下に想定した地震（M6.9）



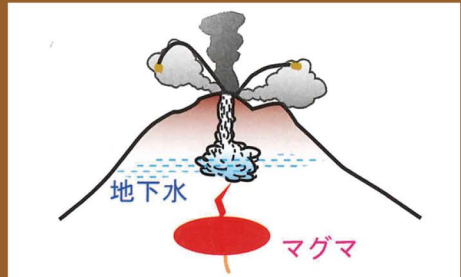
火山対策(那須岳)

水蒸気噴火の影響

那須岳(茶臼岳)は、数百年に1回程度の割合で、水蒸気噴火が発生します。重大な影響は火口の近くに限られます。しかし、降灰は少量ながら広範囲に到達します。

水蒸気噴火

地下水が熱せられ、大量の水蒸気が急速に生成されて爆発を起こします。火口周辺の岩がくだけて、噴石や火山灰として周囲に飛び散ります。

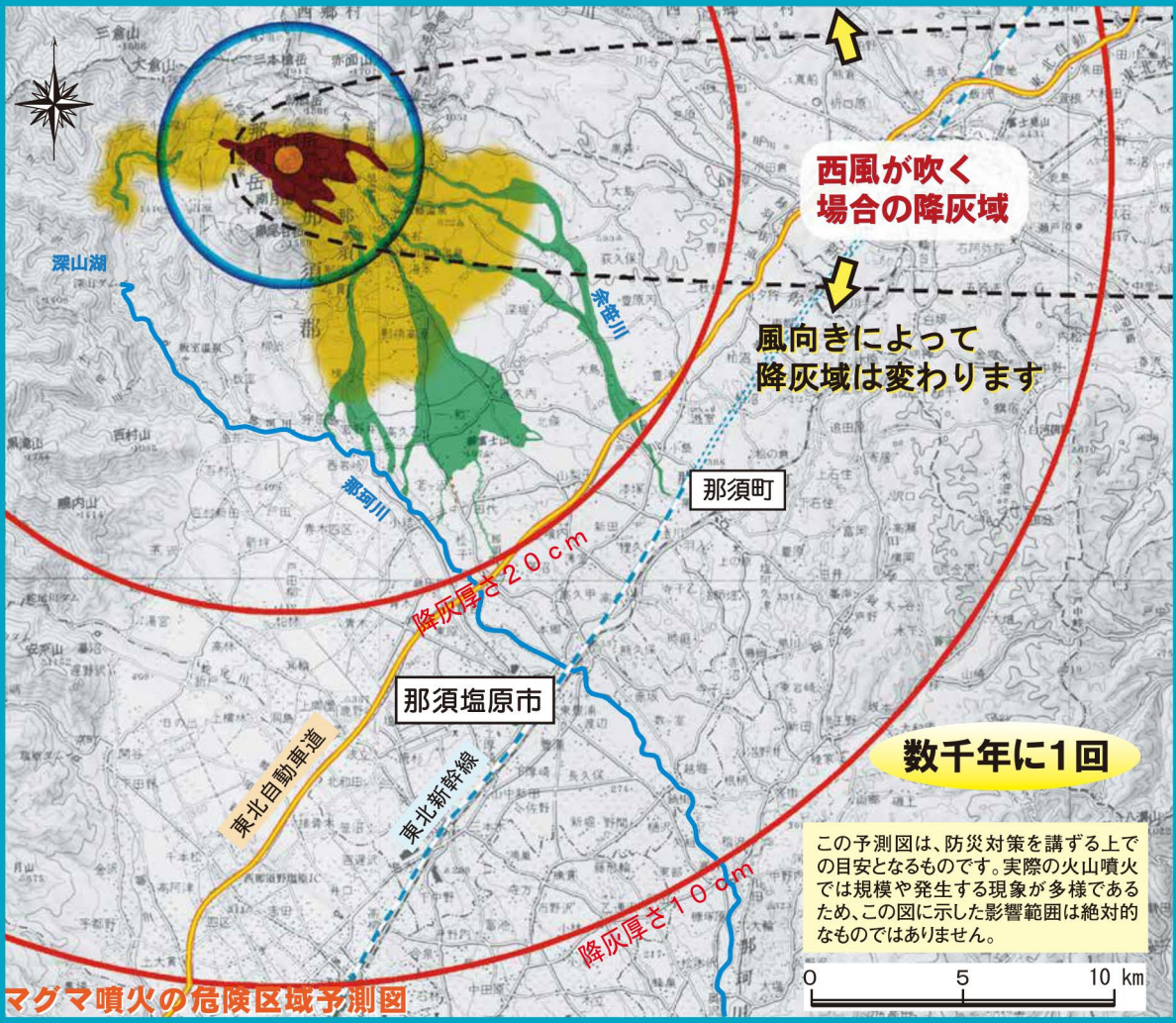
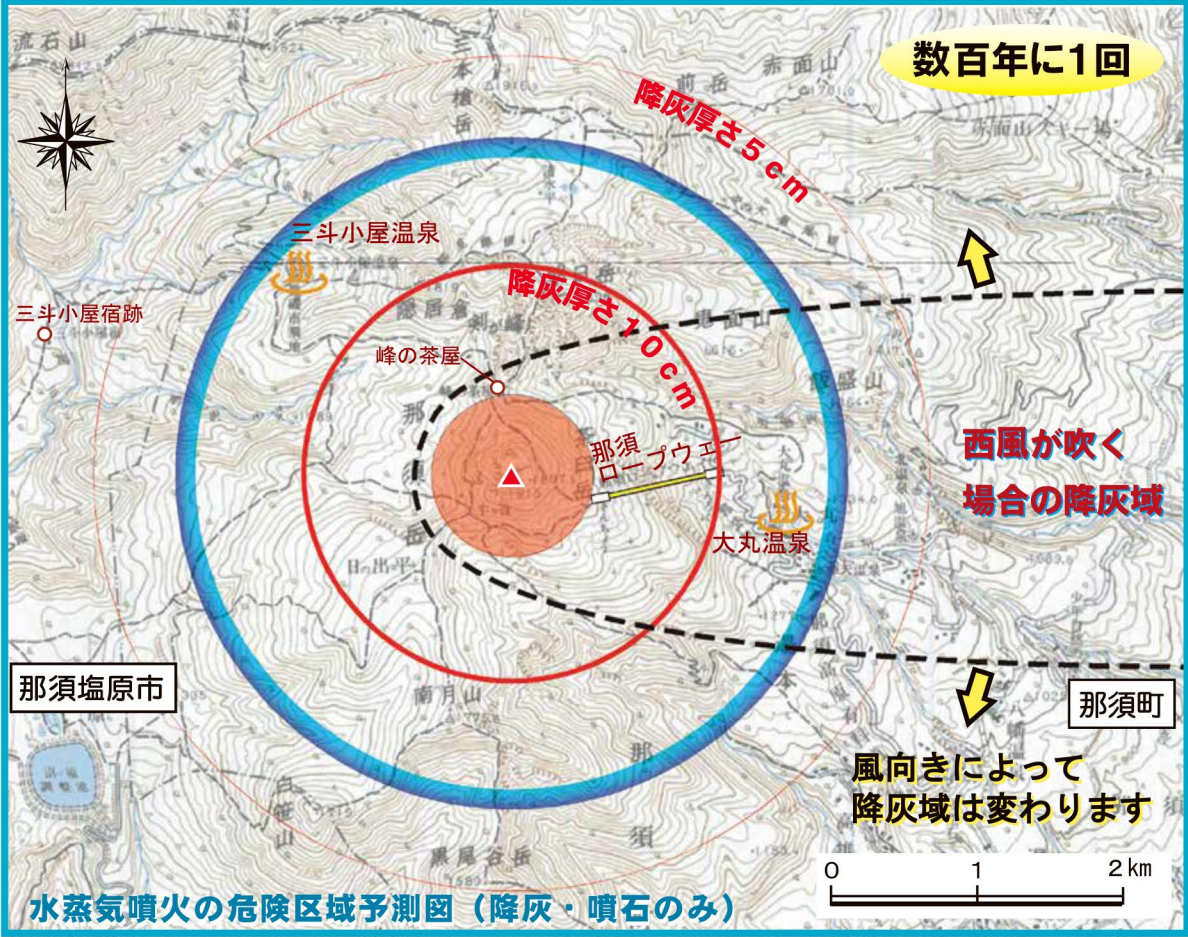
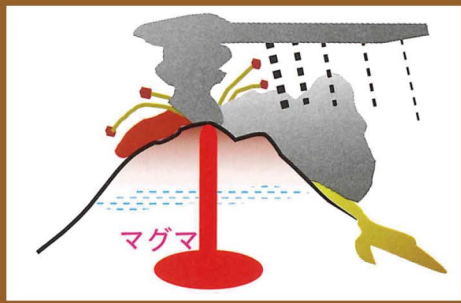


マグマ噴火の影響

数千年に1回程度、マグマが直接地表に噴出する本格的噴火(マグマ噴火)が発生します。マグマ噴火では水蒸気噴火より規模が大きくなり、また山麓域までの広範囲が、長期にわたって危険になることがあります。

マグマ噴火

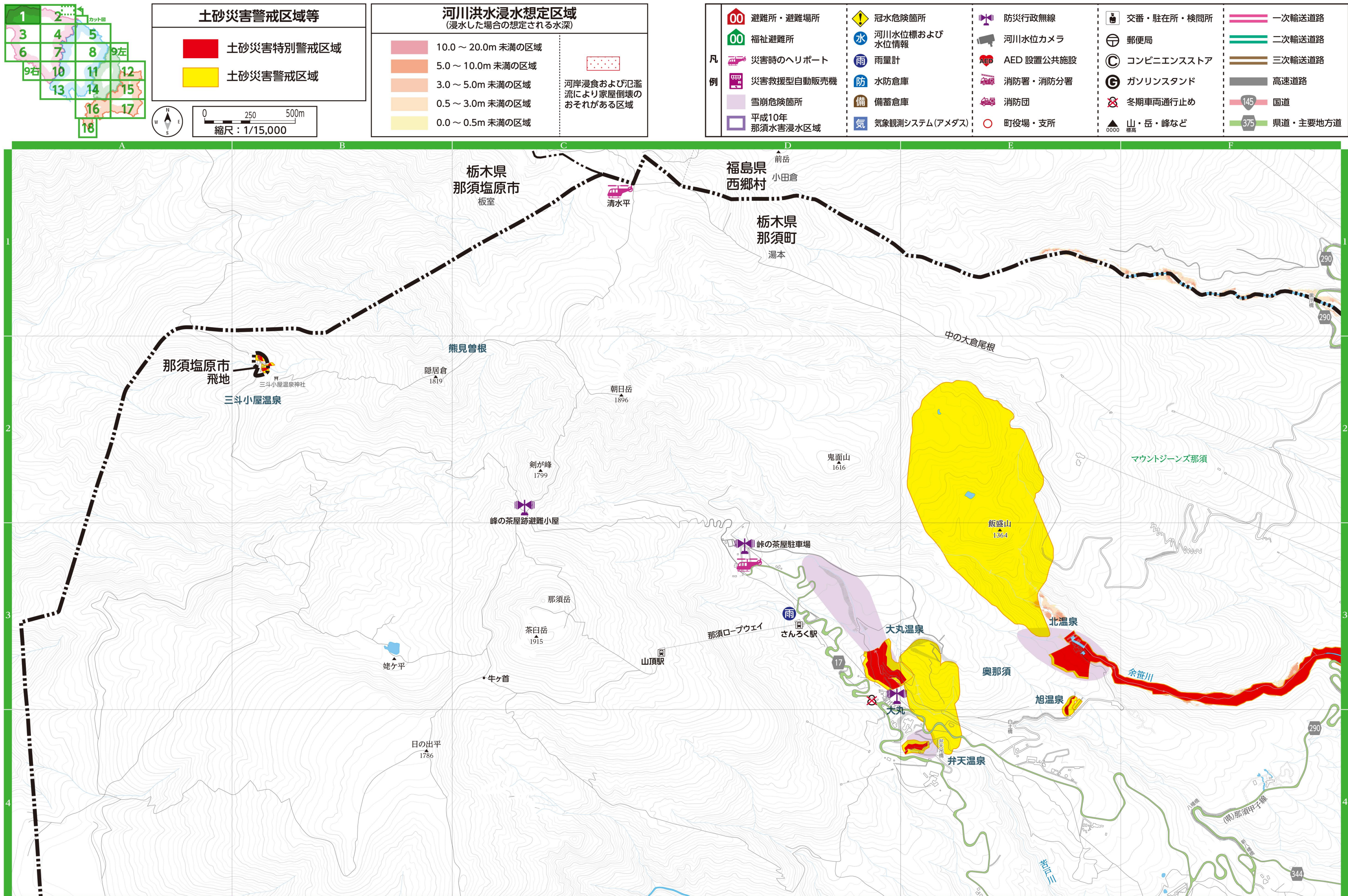
マグマが直接地表に噴出します。

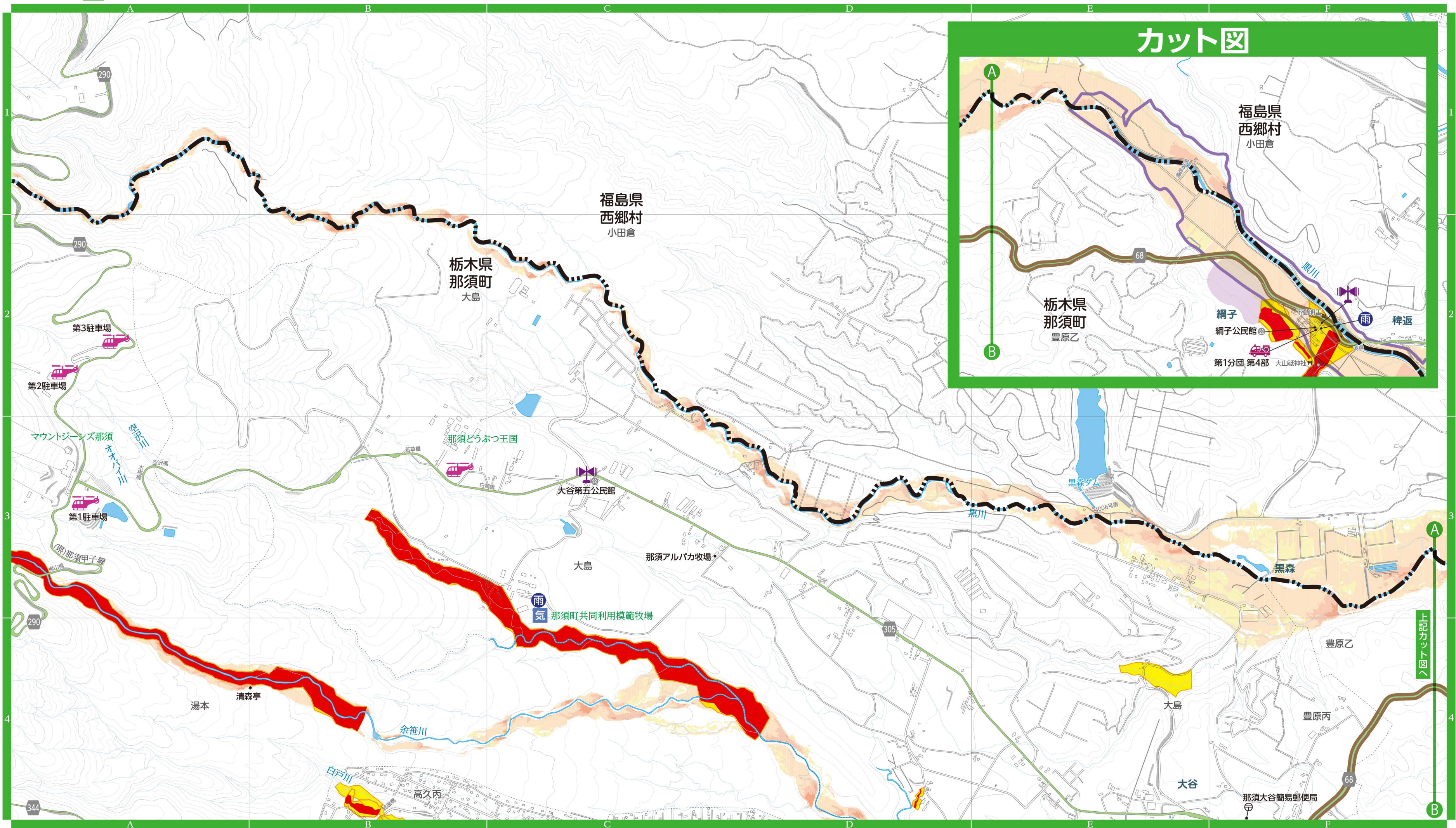
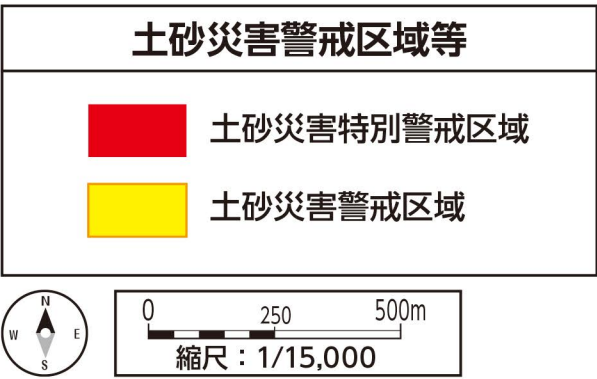
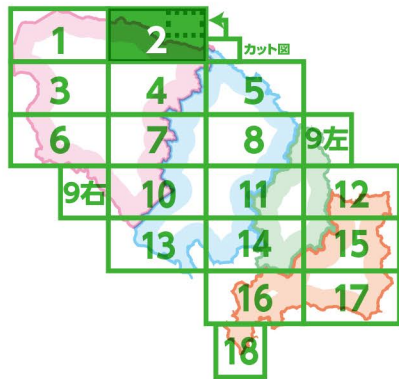


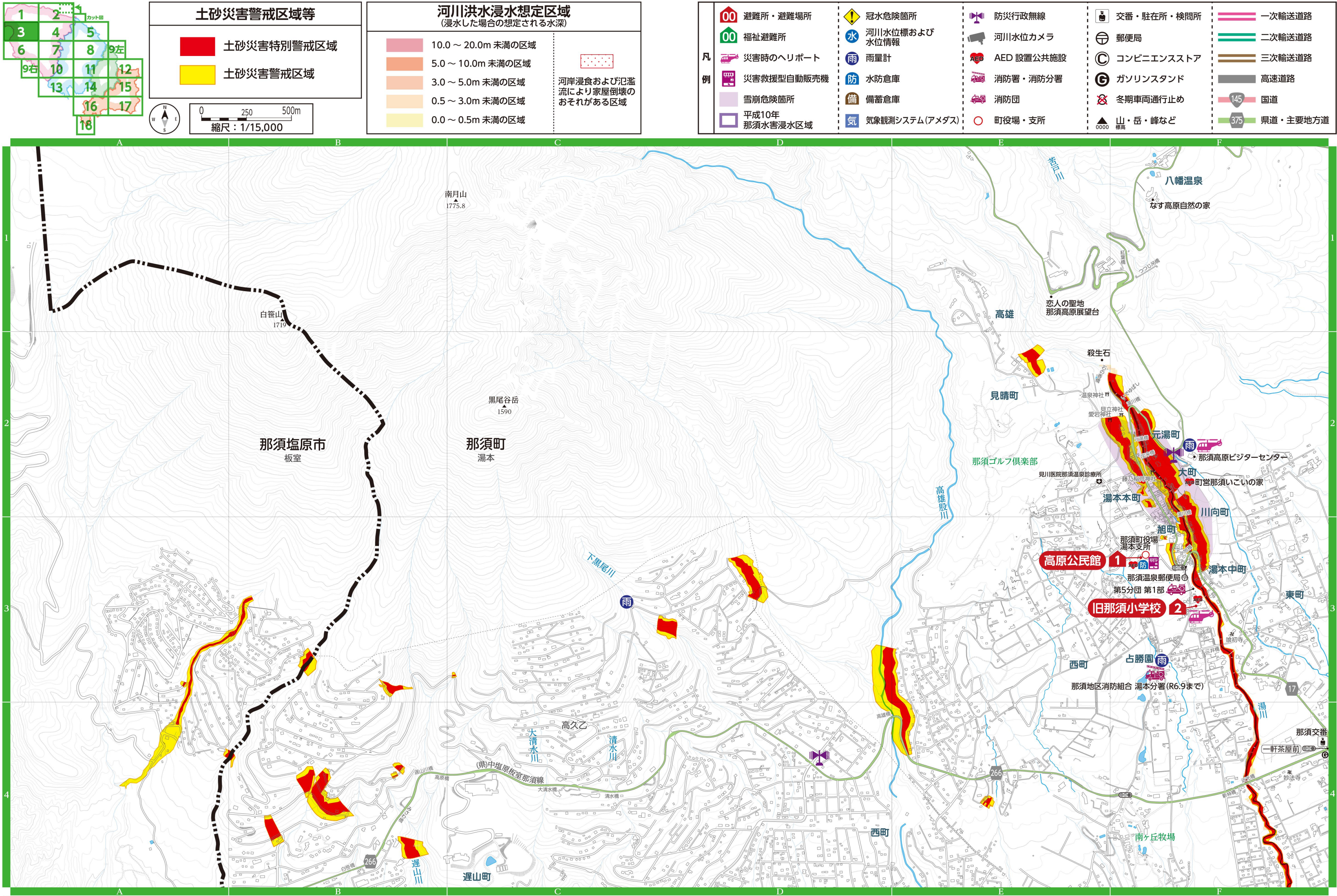
那須岳の噴火警戒レベル

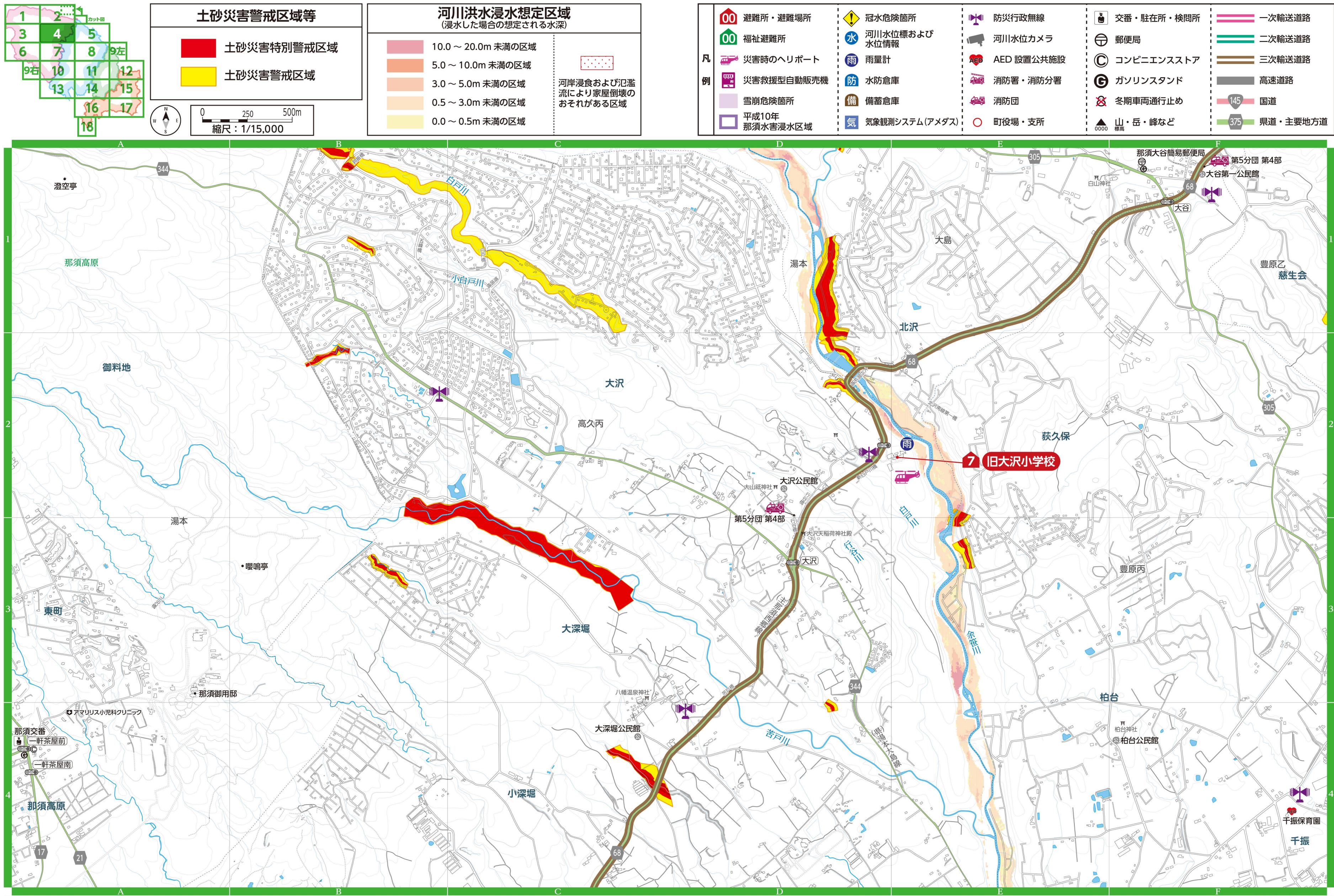
種別	名称	対象範囲	噴火警戒レベル (キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動および 登山者・入山者等 への対応	想定される現象等
特別 警報	噴火警報(居住地域)または 噴火警報	居住地域およびそれより火口側	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	●噴火が発生し、火砕流、融雪型火山泥流(積雪期)が居住地域に到達、あるいはそのような噴火が切迫している。または大きな噴石(注1)が概ね4km程度の範囲に飛散する噴火が切迫、あるいは発生。 過去事例 1410年:ブルカノ式噴火発生、その後火砕流が約8km流下、泥流の発生
			4 (高齢者等避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での高齢者等の要配慮者の避難、住民の避難の準備等が必要。	●火砕流、融雪型火山泥流(積雪期)が居住地域まで到達するような噴火、または大きな噴石が概ね4km程度の範囲まで飛散するような噴火の発生が予想される。 過去事例 1408~1410年:水蒸気噴火が頻発
警報	噴火警報(火口周辺)または 火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常的生活。状況に応じて高齢者等の要配慮者の避難の準備等。登山禁止・入山規制等危険な地域への立入規制等。	●中規模噴火が発生し、山頂から概ね2.5km程度まで大きな噴石が飛散。 過去事例 1881年:水蒸気噴火発生 ●中規模噴火の発生が予想される。 過去事例 事例なし
		火口周辺	2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常的生活。火口周辺への立入規制等。	●小規模噴火が発生し、山頂から概ね1.5km程度まで大きな噴石が飛散。(ごく小規模噴火含む) 過去事例 1953年、1960年、1963年:水蒸気噴火発生 ●小規模噴火の発生が予想される。 過去事例 事例なし
予報	噴火予報	火口内等	1 (活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	状況に応じて火口内への立入規制等。	●火山活動は静穏、状況により山頂火口内および一部火口外に影響する程度の噴出の可能性あり。

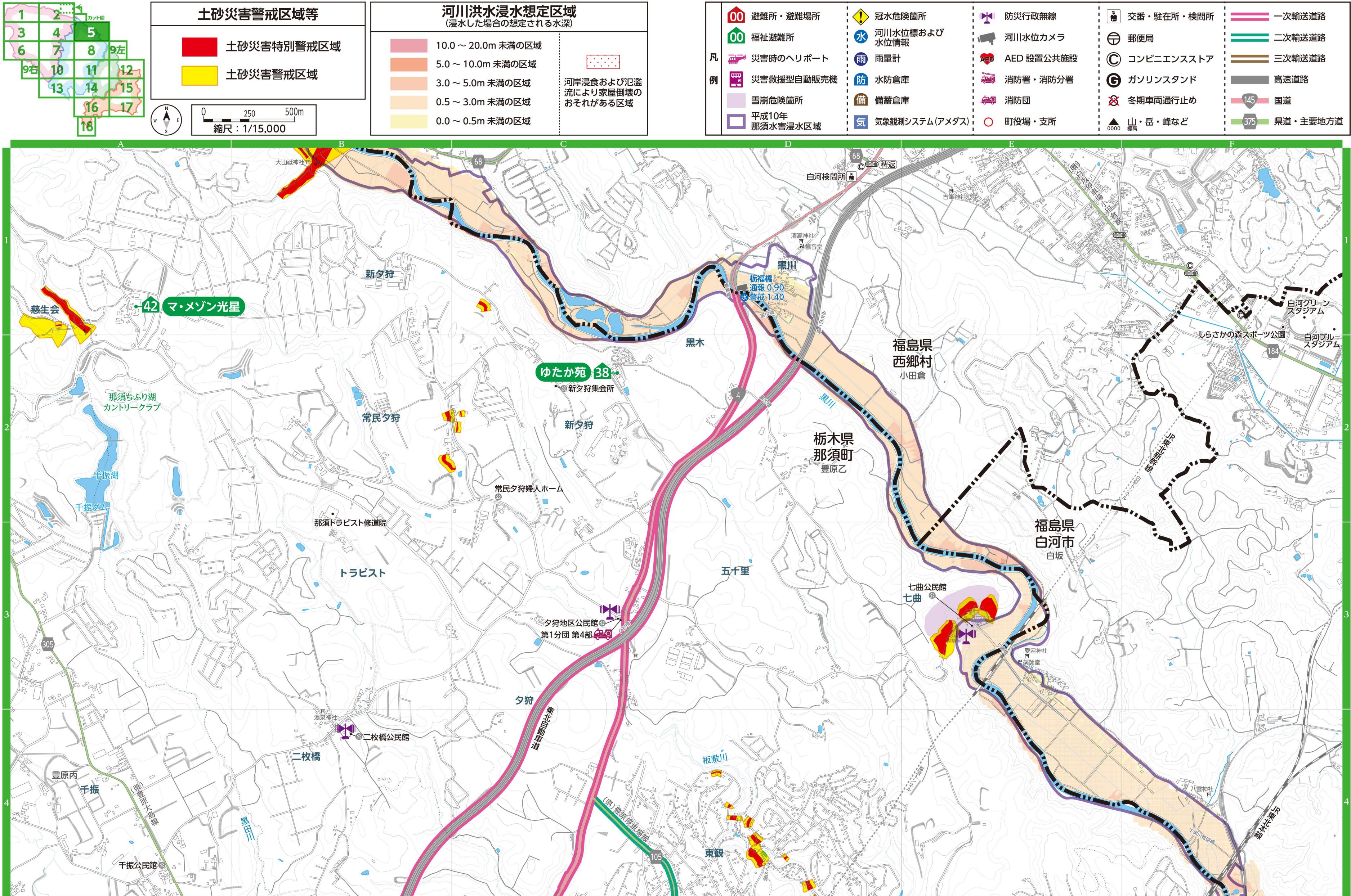
(注1) ここでいう「大きな噴石」とは、概ね20~30cm以上の、風の影響をほとんど受けずに弾道を描いて飛散するものとする。

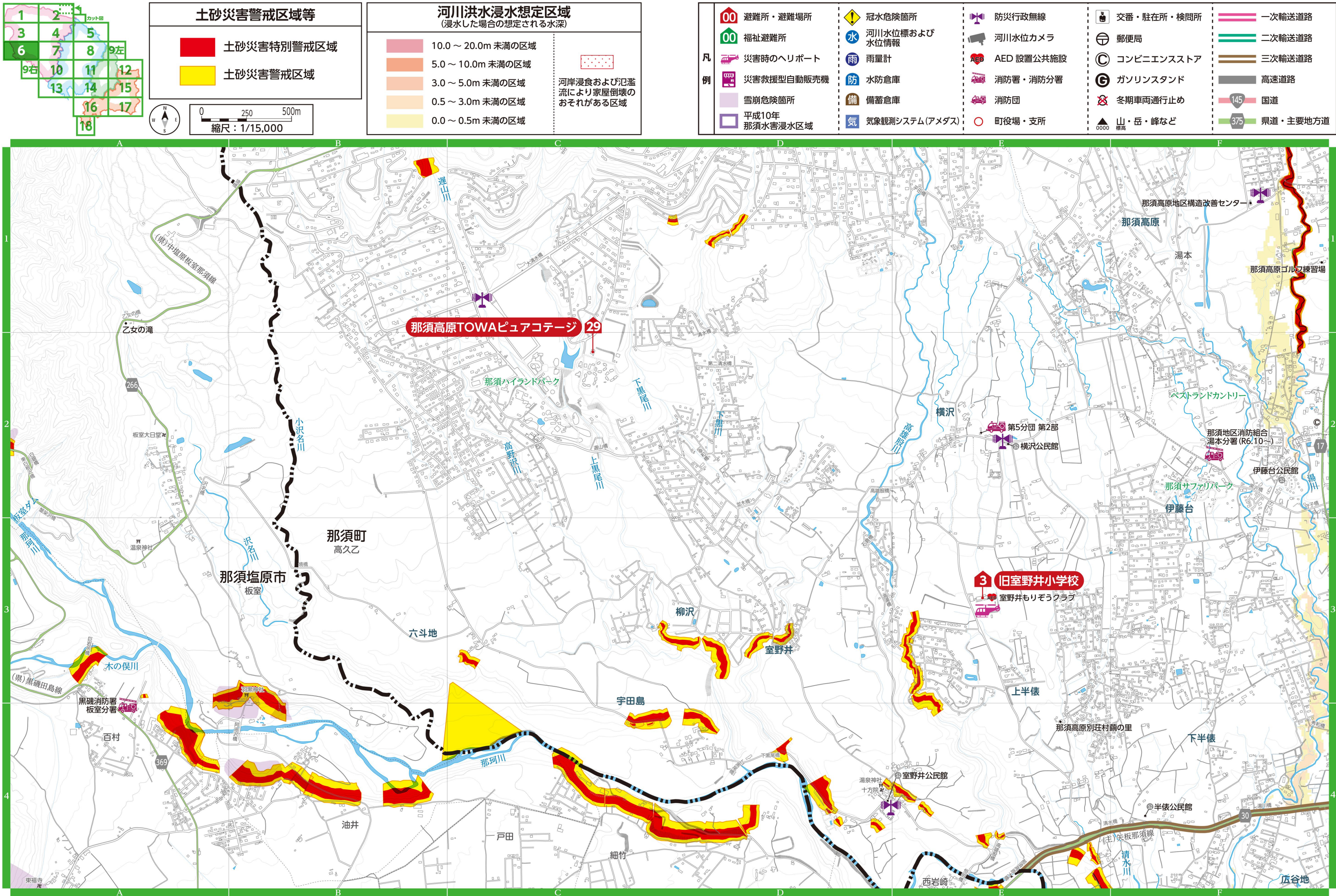




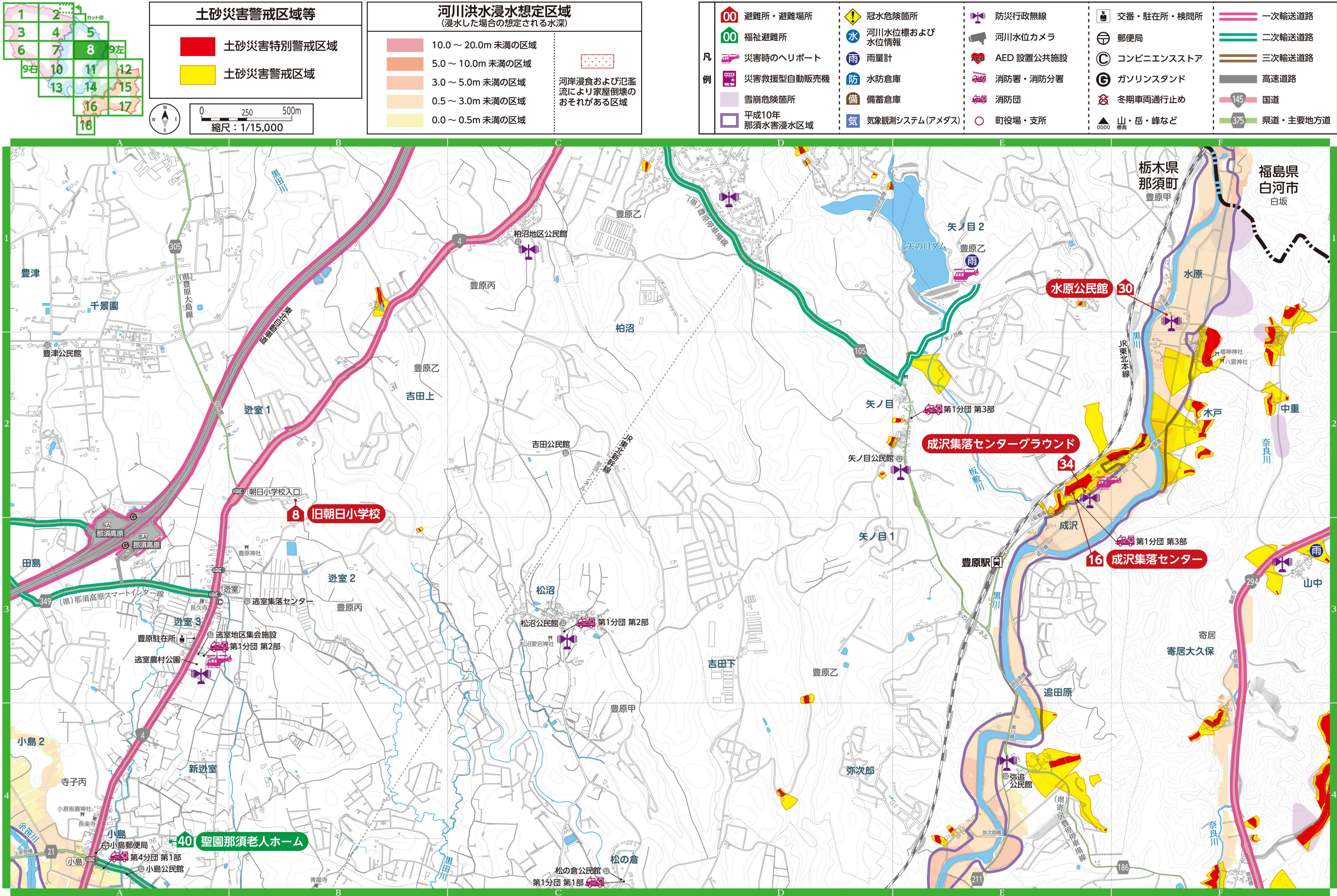


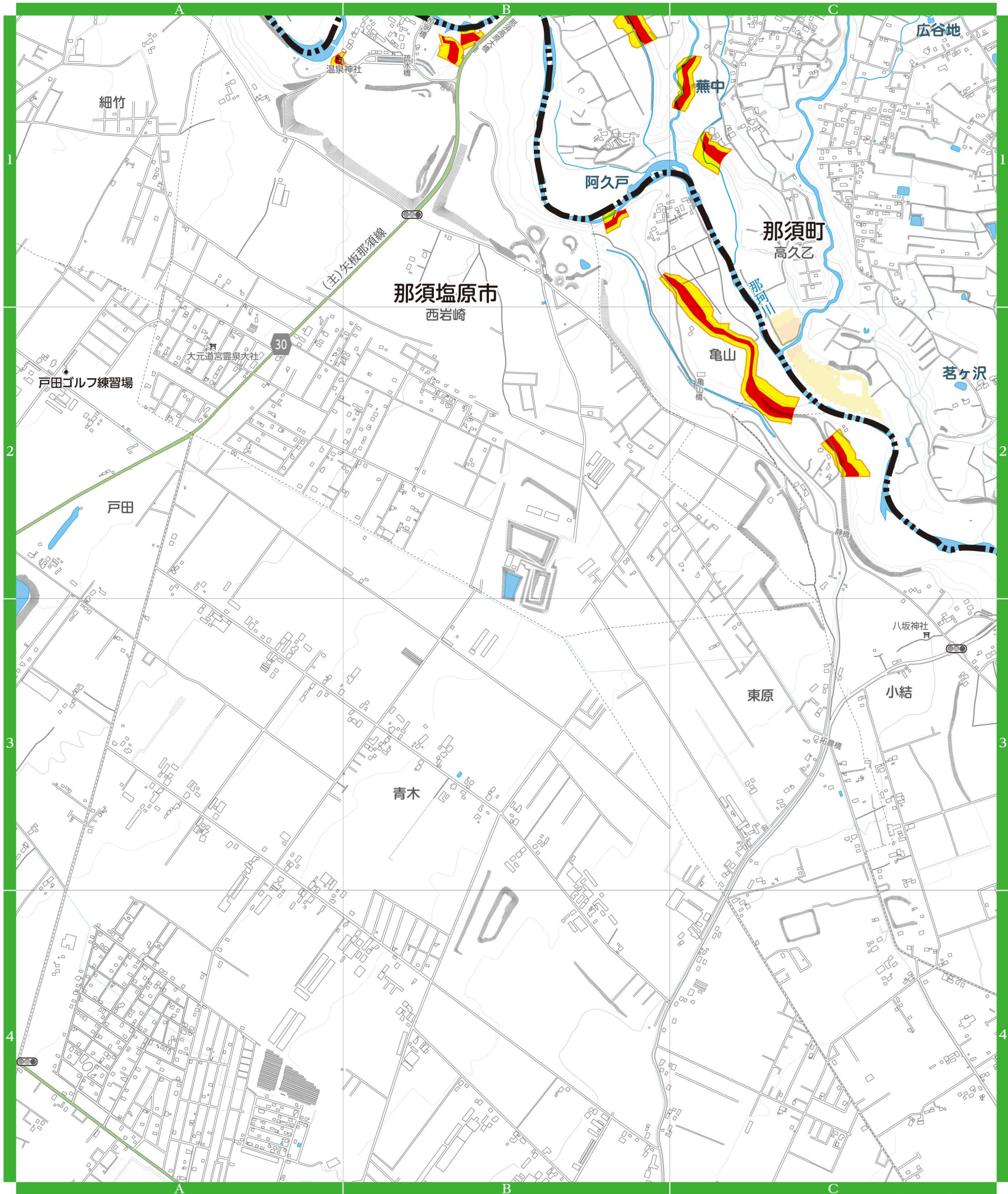
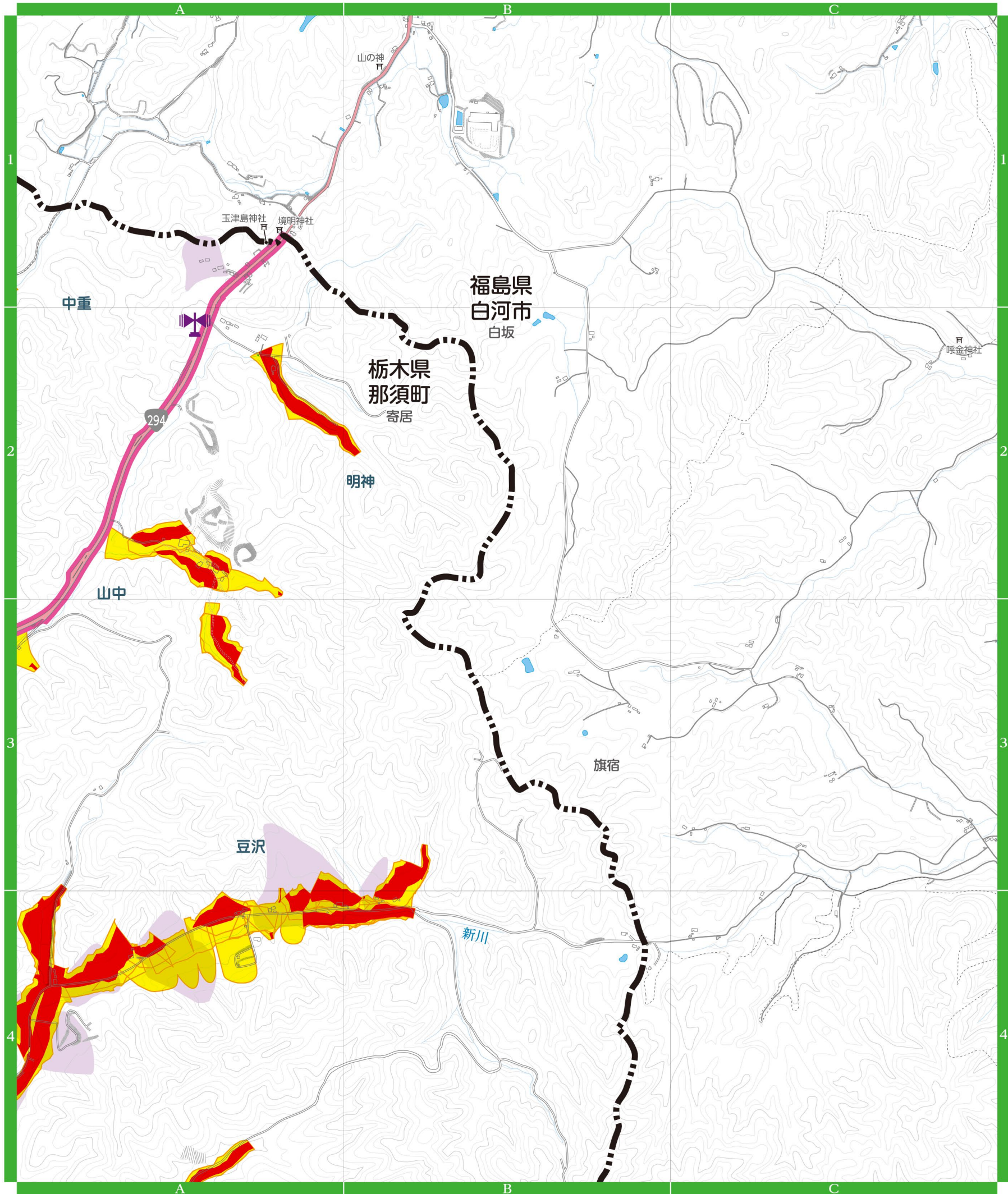
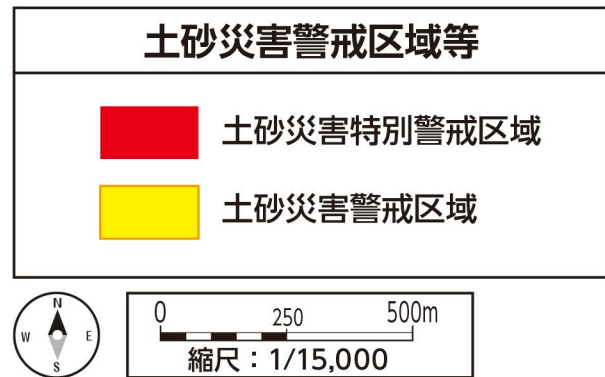
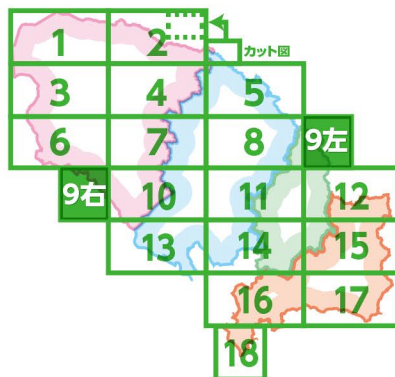


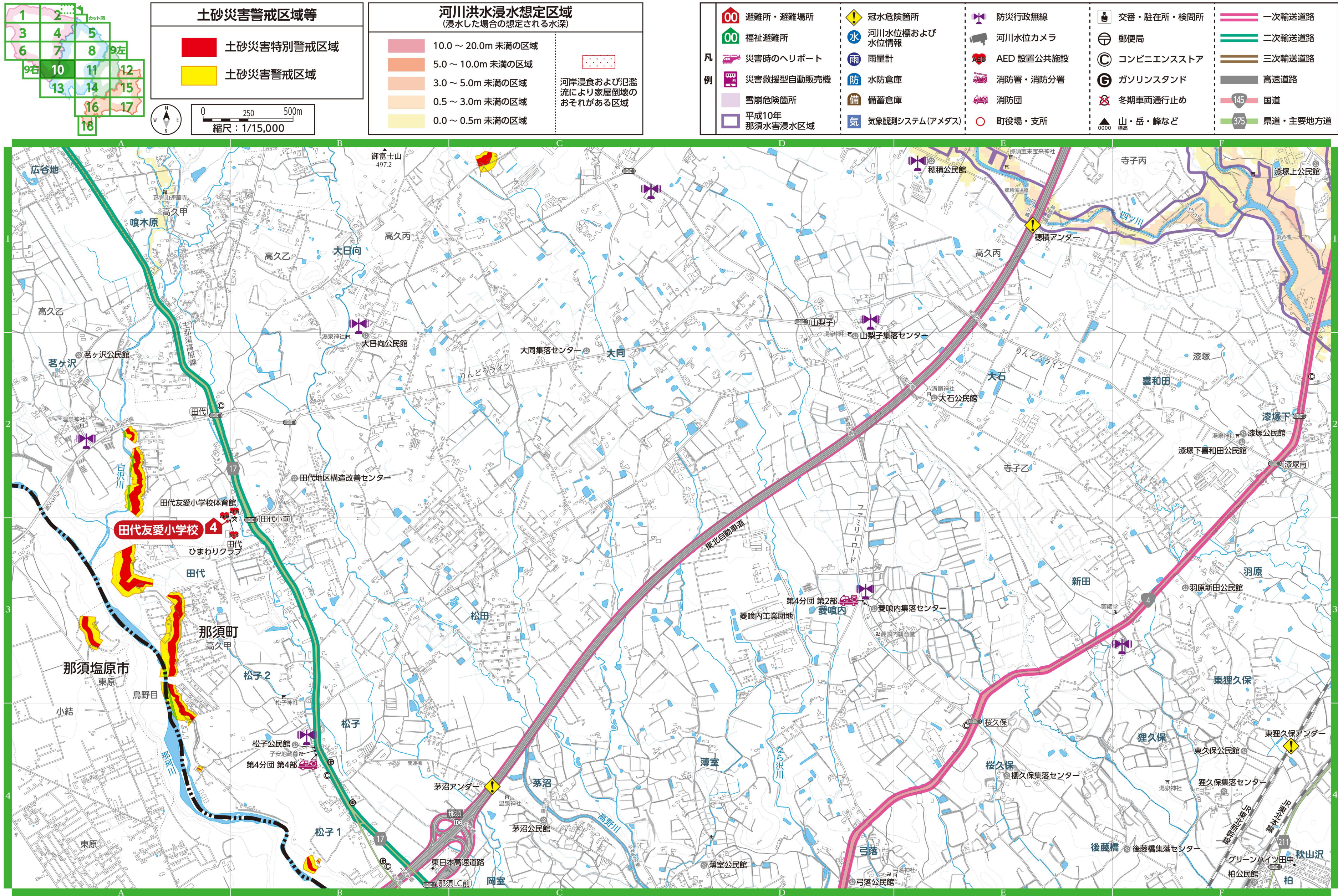


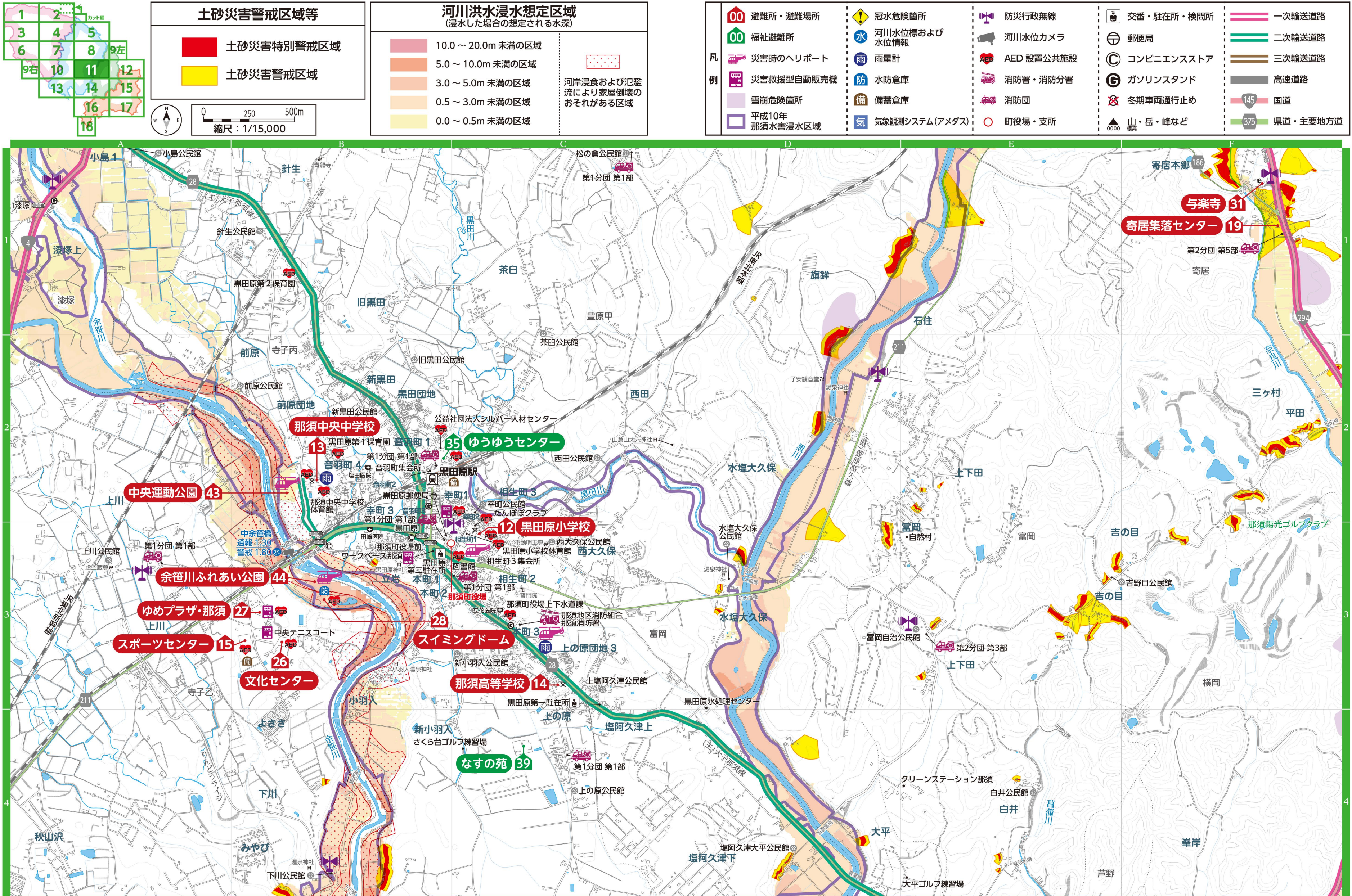


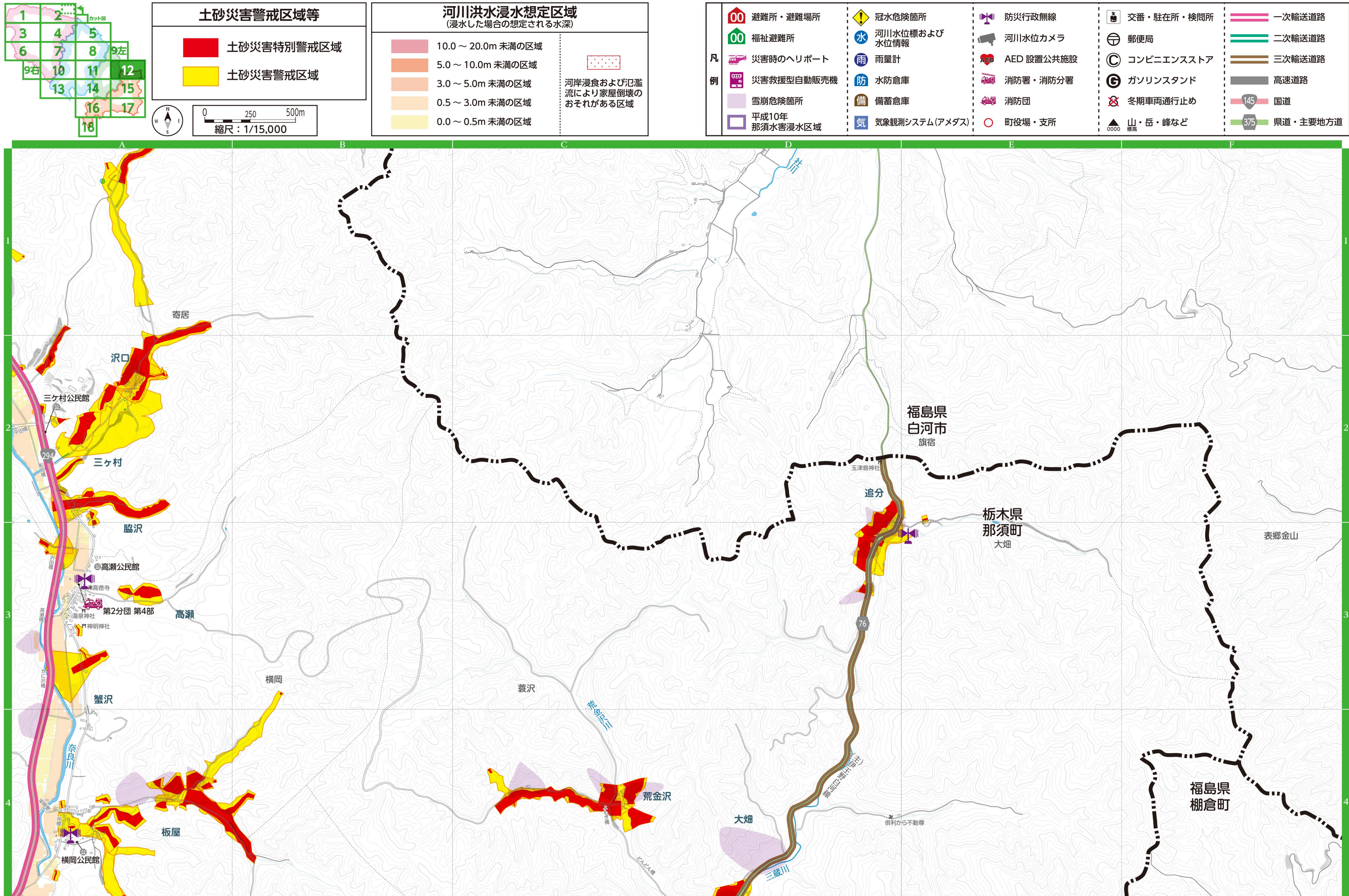


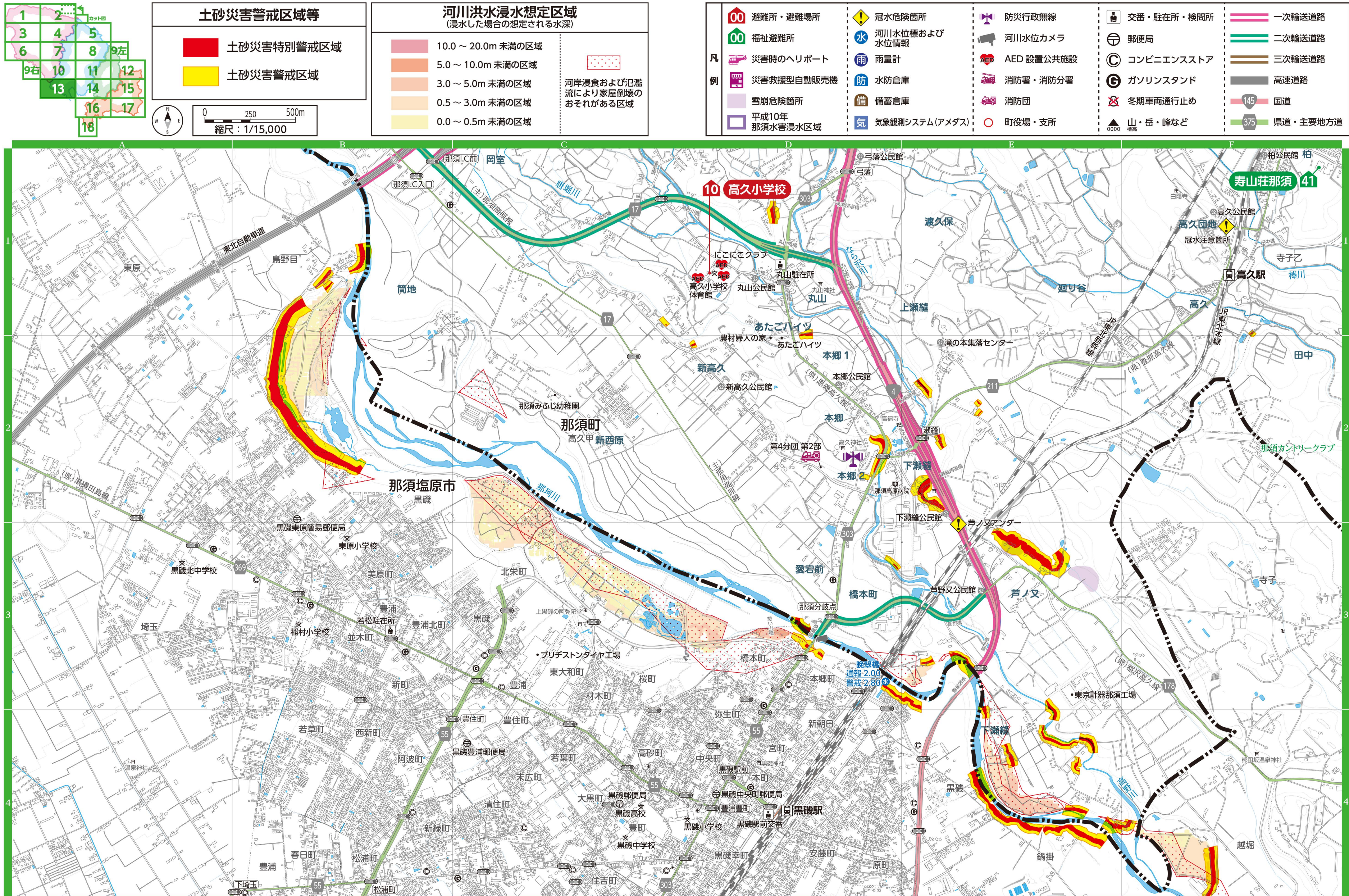


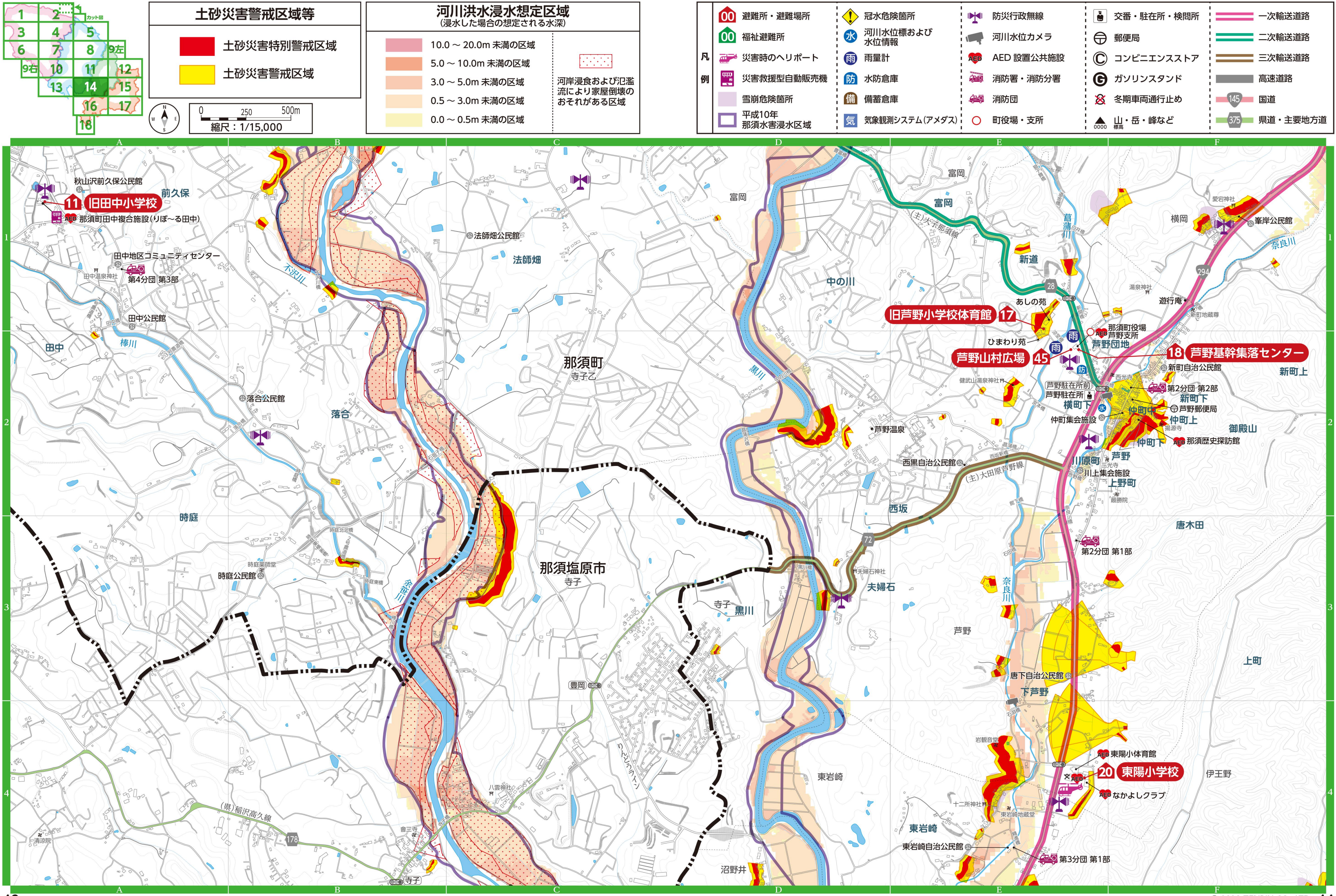


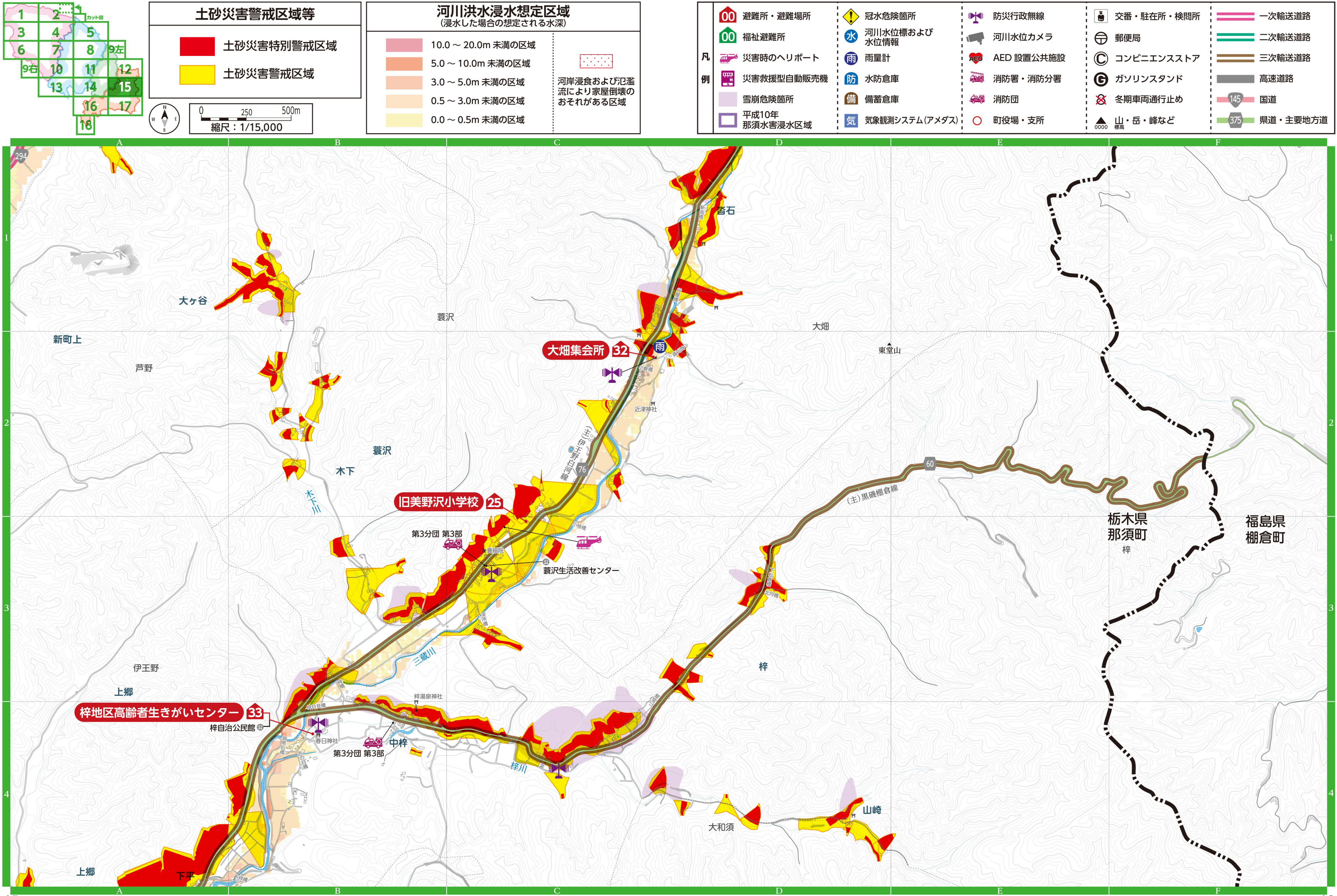


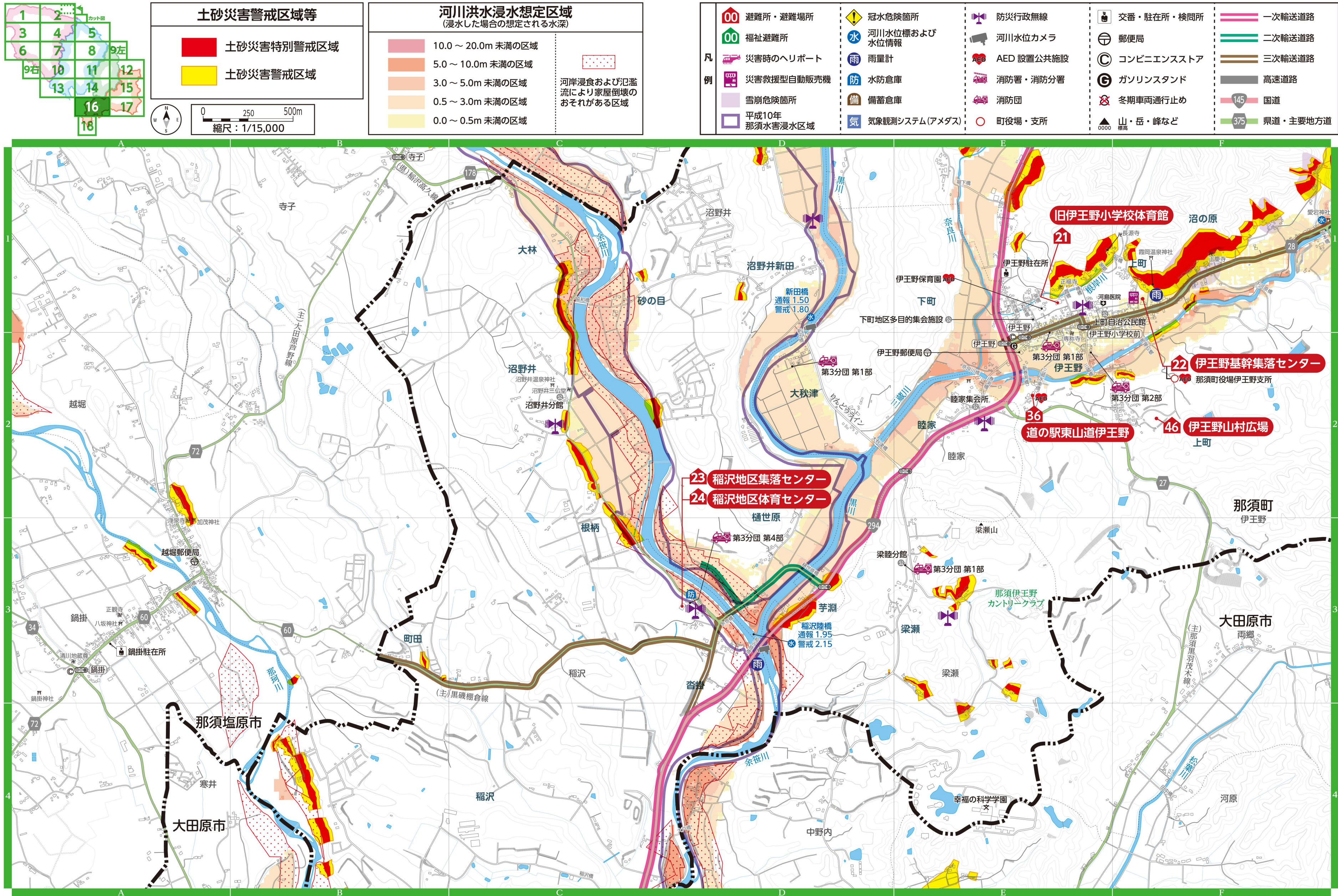


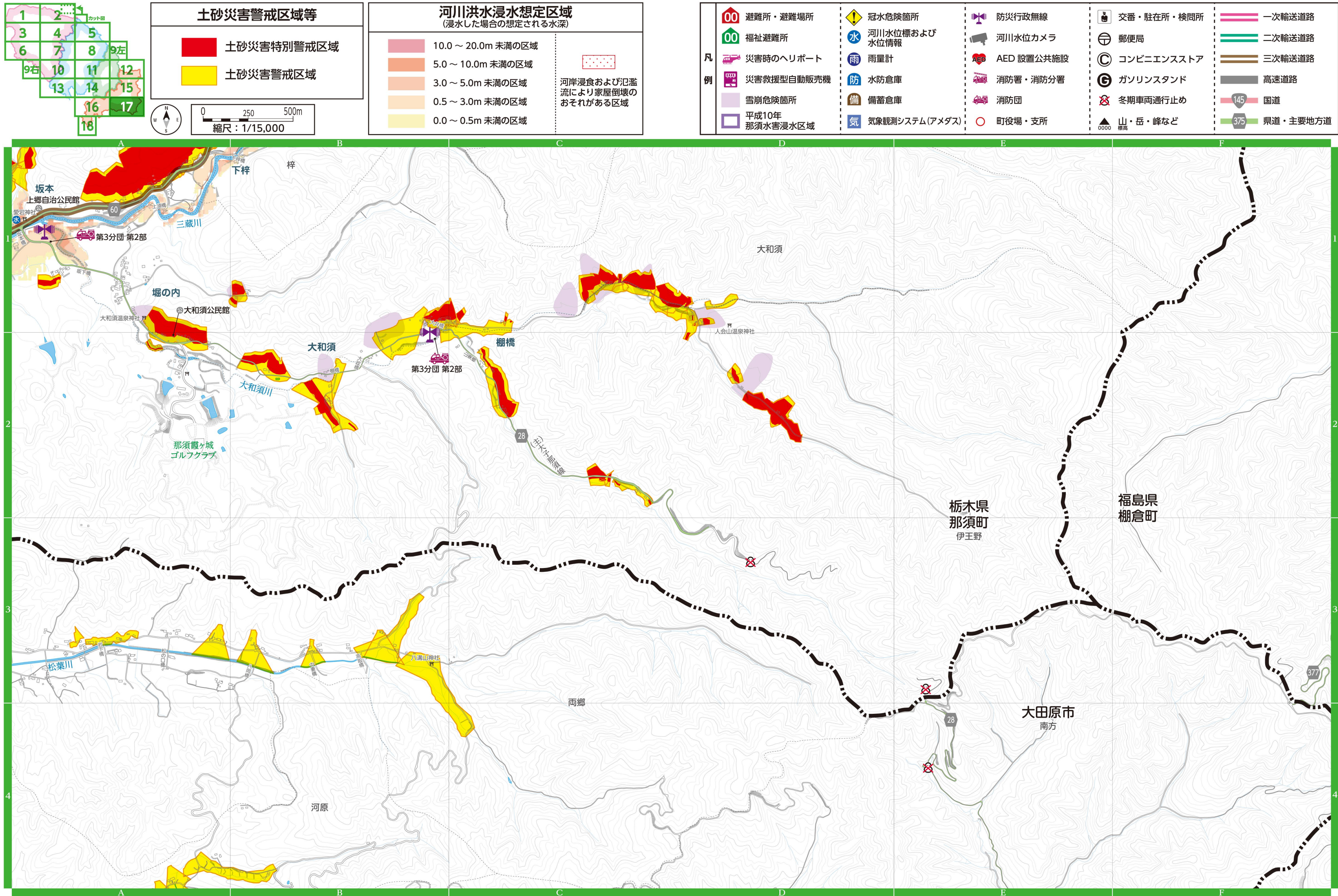


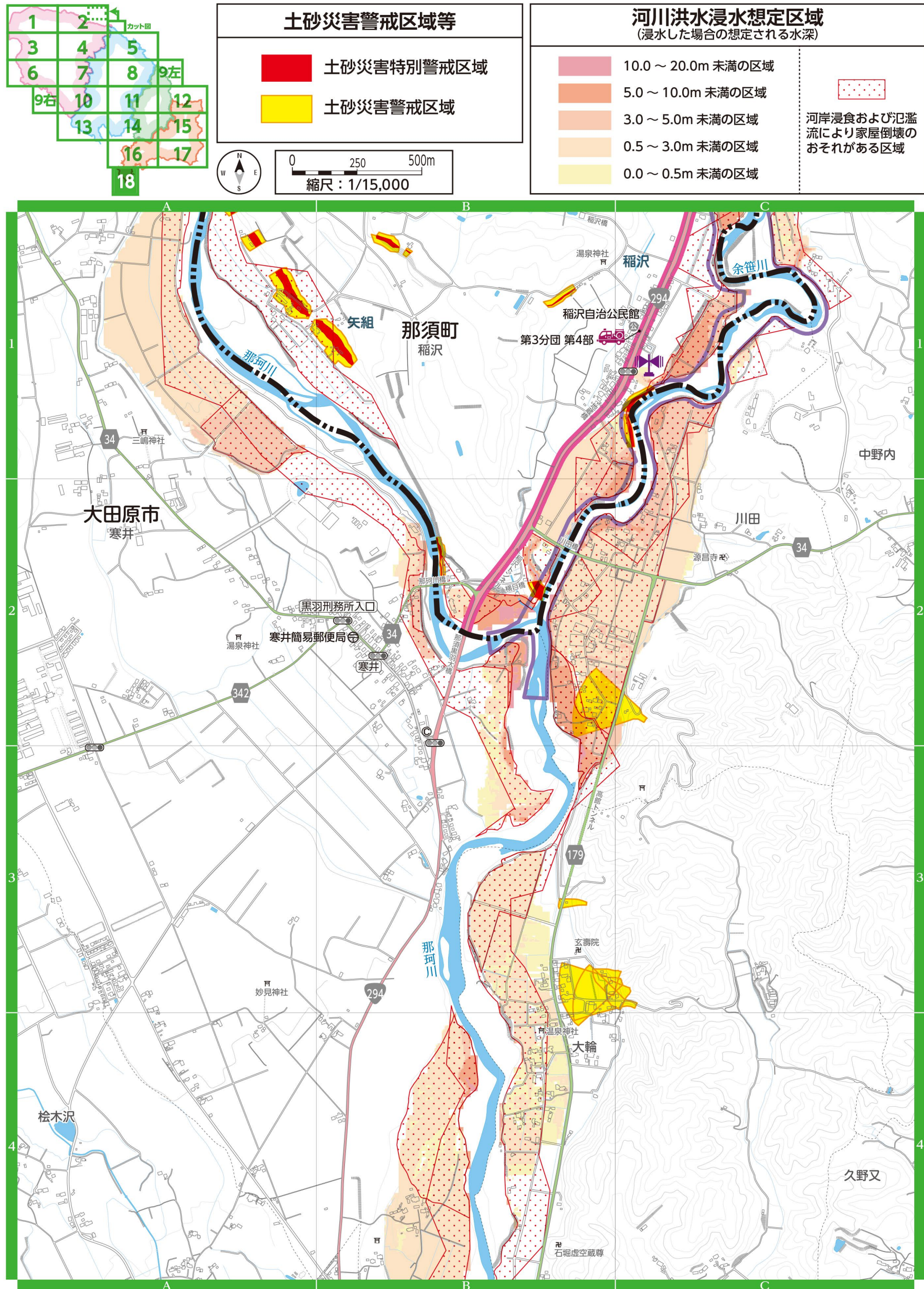












ため池ハザードマップ

